

一 般 質 問 通 告 書

平成24年9月12日

区議会議長 梅 沢 五十六 殿

区議会議員 40 番 小 林 ひとし



平成24年第3回定例会に下記要旨の一般質問を行いたいのので、会議規則第85条第2項の規定により質問通告書を提出します。

記



(質問件名)

- 1 生活保護の次世代育成支援プログラム（塾代助成）・教育クーポン（バウチャー）について
(質問要旨)
 - (1) 次世代プログラムで中学1～3年生に塾代助成を行っているが、現在の利用率について伺う（学年ごと）。
 - (2) 平成21年9月から塾代助成を行ってから全日制高校の進学率が増えたと聞くが、平成21～23年度の対象者の進学率の推移について伺う。
 - (3) 次世代プログラムの塾代助成は積極的に活用すべきと考えるが、利用率が低いと聞く。利用率を高める方策を考えているのか。
 - (4) 次世代プログラムは東京都の事業で補助率が10分の10で、また小学校4～6年も対象に入っていると聞くが、本区において対象としない理由を伺う。
 - (5) 次世代プログラムの塾代助成は現在中学3年生で月額12500円、1・2年生で8300円を上限に支給しており、東京都の補助金の範囲内で行っている。一般的な塾代の平均支出は2万円を超えているというデータもあり、区の一般財源を使っている程度増額すべきと思うがいかがか。
 - (6) 大阪市では橋下徹市長指示の下、今月から西成区で就学援助世帯を対象に月1万円の教育クーポン支給を開始し、今後は全市域で実施する予定である。本区においては生活保護世帯には次世代育成支援プログラムで塾代助成が行われているが、就学

援助世帯に対しても教育クーポン等の形で塾代助成を実施すべきと思うが、区長の考えを伺う。

(質問件名)

2 教員の勤務評価について

(質問要旨)

- (1) 東京都教育委員会は、教員の勤務評価について5～1の相対評価を行っており、それぞれの比率を提示しているとのことだが、その比率を伺う。
- (2) 昨年度の本区の区立小・中学校に勤務する教員の勤務評価5～1のそれぞれの人数を伺う。また2年連続評価1の教員は何人いるのか。
- (3) 現在の教員の勤務評価では保護者の意見が反映されていないが、アンケートを取るなどして校長等の管理職が評価する際に反映させるべきと思うがいかがか。
- (4) 本区の区立学校に勤務する教員で、過去5年間(平成19～23年度)で指導力不足等教員に認定された教員はそれぞれ何人いたのか。またそのうち分限免職になった事例は何件あるか。

(質問件名)

3 生活保護について

(質問要旨)

- (1) 本区における現時点での生活保護受給者の総数、また平成23年度から国は生活保護受給者の年齢を18段階に分類したデータの提出を求めるようになったが、その内訳を伺う。また、日本国籍以外の受給者数、支給総額を伺う。
- (2) 昨年度の保護廃止の件数と主な理由(死亡、収入増、失踪など)とその割合を伺う。
- (3) 過去5年間(平成19年度～平成24年度現在)の不正受給の件数と被害額の総額、(年度ごと)を伺う。
- (4) 過去5年間の不正受給の未収金の件数と総額を伺う。
- (5) 過去5年間で2回以上不正受給を繰り返した者は何人いるのか。
- (6) 昨今、生活保護の不正受給が社会問題となっており、不正受給に対しては刑事告訴を含めて厳しい対応をすべきである。本区は現在どのようなチェック体制で、今後どのような姿勢で臨むのか。